

データから知るかしこい対策 防犯配慮の家

YKK AP株式会社 住宅本部 住宅商品部
ドア・シャッター商品企画室

ご自分の家の防犯上の弱点をご存じですか？
侵入盗の口や狙われやすい家には、いくつかの特徴があります。

住まいの安心を脅かす侵入盗の防犯対策として、まずその具体的な手口をしっかりと知ることが大切です。

実際の犯罪傾向のデータから見てくる、心構えや対策をご紹介します。

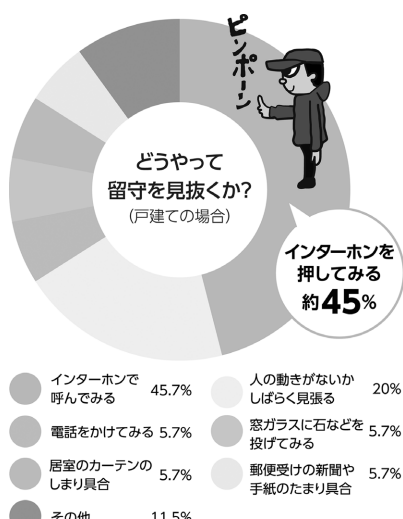
1. 近年の侵入盗犯罪の傾向は増加傾向に転じています。

住宅などの建物に侵入し、金品を盗む「侵入窃盗」や凶器等を示すなどして、家人を脅して金品を強奪する「侵入強盗」の件数は平成の後半から令和に入ると減少傾向にありましたが、いままた増加傾向に。中でも戸建住宅がかなりの割合を占めています。

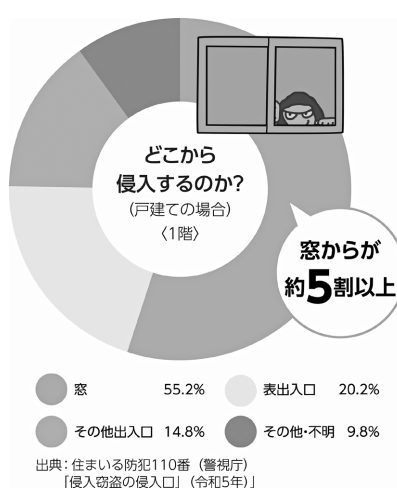
2. 侵入盗犯の行動パターンを知ろう

①侵入盗犯は、まず留守を確認する

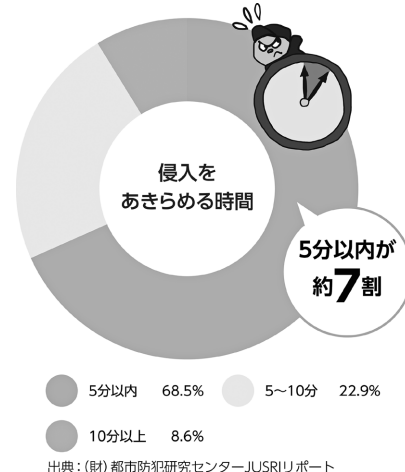
侵入盗犯は、まず目的の家が留守かどうかを確認します。



【画像①】



【画像②】



【画像③】

インターホンを鳴らしてみたり、家の中に人の動きがないか、カーテンのしまり具合、たまった郵便物など、外から見える家の様子も留守確認の手段となっています。【画像①】

②侵入盗犯は、窓から入る

侵入経路はというと、戸建て住宅の約60%が窓から。その中で最も多いのが直接庭に出入りできる「1階居室の窓」からの侵入です。侵入口は次に表出入口、その他出入口の順で多く、窓以外でも玄関ドアなど開口部に関して、注意が必要です。2階建て以上の戸建て住宅の90%が1階から侵入されているという報告もあります。【画像②】

③侵入盗犯は、5分であきらめる

侵入に時間がかかればかかるほど、用心深い侵入盗犯は犯行をあきらめます。侵入をあきらめる時間で、最も多いのが2～5分。つまり5分以上要すると、侵入をあきらめる確率が高いのです。【画像③】

3. 侵入手口を知り、防犯対策を考えよう

侵入盗犯の手口はさまざまありますが、いくつかのパターンが見られます。侵入手口別に対策を見ていきましょう。

《侵入手口第1位》

カギの締め忘れを狙われる……46.3%

- ・家事に時間をとられ玄関や窓にカギをかけていないスキに侵入される例も多いようです。
- ・朝のゴミ出しなど、ちょっとした留守も要注意。対策として確実な施錠を心がける。
- ・防犯の基本は何といってもカギをきちんとかけること！
- ・窓には確実に施錠をする習慣を身につけましょう。ただクレセントをかけるだけではなく、「クレセントロック」や「補助錠」も必ず施錠しましょう。【画像④】



【画像④】

《侵入手口第2位》

ガラス破りで入られる……35.8%

- ・カギが閉まっても、ガラスの一部を破り、そこから手を差し入れてクレセントを回して解錠してしまう。この手口がととても多いようです。対策としてガラス破りに強い窓にする。
- ・2ロック
クレセント（クレセントロックもちゃんと掛けましょう）と補助錠により2カ所をロックすることで、容易に開けられないように。
- ・割られても貫通しにくいガラス
ガラスの間に強度と柔軟性に優れた中間膜を挟んだ合わせガラス。【画像⑤】
- ・シャッター・雨戸・面格子



【画像⑤】

視覚的な抑止力としても効果あり。【画像⑥】

こじ開けや打ち破りに強い防犯配慮商品もあります。

- ・二重窓
内窓を取りつけて二重窓に。侵入に時間がかかるのはもちろん、侵入をためらわせる効果も期待できます。
- ・ボタン錠付のクレセント
ガラスが破られたとしても、ボタン錠が付いたクレセントなら解錠が困難です。
- ・2つのボタンを何回か押すことで解錠できる仕組みで、各ボタンを「何回押せば解錠するか」を自由に設定できます。

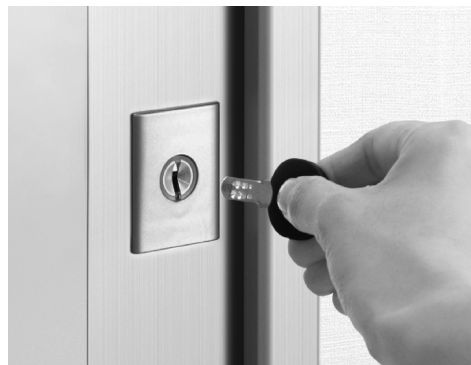


【画像⑥】

《侵入手口第3位》

ドアその他の錠を破れられる……4.8%

- ・特殊工具をカギ穴に入れて錠を短時間で開ける「ピッキング」【画像⑦】、ドアと壁の間にバールなどを押し込み無理矢理カギを破壊する「こじ破り」、採光部のガラスを割って手を差し入れてカギを開けてしまう「サムターン回し」などが代表的な手口です。対策として錠破りに強いドアにする。
- ・2ロックや多点締り
ドアや引戸の防犯の基本です。
- ・ピッキングに強い錠
ディンプルキーなど優れた耐ピッキング性能を持つ錠があります。



【画像⑦】

・電気錠のスマートドア

タグやリモコンで施解錠するスマートドアなら、カギ穴が見えないことで視覚的に防犯に配慮。またピッキング防止機能など高い防犯配慮性能を有しています。【画像⑧】

4. 家の敷地もしっかり防犯配慮

エクステリアで侵入を防ぐ

- ・門扉やカーゲート、フェンスなどで、簡単に侵入させない、また心理的に侵入をためらわせることにもつながります。
- ・侵入者の隠れ場所を作らない

・侵入盗犯は「見られる」ことで犯行をあきらめるもの。窓や出入口の見通しをよくすることで、ガラス破りやピッキングなどの犯行を防ぐ効果が期待できます。

・建物に近づきにくくする

・敷地内に侵入経路をつくらないことが大切です。侵入盗犯が隠れやすいような植栽や塀がないかチェックしましょう。家の裏手など人目が届かないところには、センサー照明なども有効です。

以上、さまざまな侵入手口から住まいを守るため防犯配慮に優れた窓・ドア・エクステリア商品でひとつ上の安心づくりを考えてみませんか？



【画像⑧】



データで知るかしこい対策 防犯配慮の家ホームページ

